

年 組 名前：

2021・10・26

**風林火山**

なじみのドラッグストアで最近、食品コーナーに新しく掲げられたポスターとポップの言葉「てまえどり」。すぐに食べる場合に棚の手前から商品を取ることや、販売期限の迫った物を積極的に選ぶ購買行動のこと▼食品ロス削減を目的に農林水産省や環境省、消費庁、小売業界が連携し、6月からコンビニを中心にポスターなどで啓発を進めている。意義を知らながらも牛乳のような日配品の場合、つい棚の奥から新しい商品を選んでしまっていた▼このほか、消費期限の表示を日付から月単位に代え、販売期限を延長するメーカー側の動きもある。小売店は期限が迫る前に早めに割引して売り切る工夫もしている▼山梨県内では昔から「はねだし」の桃やブドウを近隣に分けたり安価で販売したりしていて、県民として果樹王国の恩恵を受けられることしばしば。廃棄を減らすため加工品として活用する取り組みも進んでいる▼同様に菓子業界でも江崎グリコがこのほど、形がふぞろいな「ジャyantカプリコ」の詰め合わせをアウトレット品として限定販売し始めた。味は変わらないため購入者側はお得感があり一石二鳥だ▼「てまえどり」を実践しようとして、家庭の冷蔵庫で「てまえどり」をしてしまうと、いつの間にか奥に追いやられて無駄になる食品も。フードロス削減のためにはまず食べ物への感謝を忘れず、賢い消費行動を心掛けることが肝要だ。(口)

(2021年10月26日付 山梨日日新聞1面)

問1

コラムに出てくる「てまえどり」とはどういうことですか。

.....

問2

変色や傷などがある「はねだし品」と同様の言葉に○を付けてください。

「     」加工品   「     」販売期限の迫った物   「     」アウトレット品   「     」日配品

問3

日本国内では毎年大量の食品が廃棄されています。ロスを削減するためには「てまえどり」以外にどんなことが必要だと思いますか。いくつでも書いてください。

- .....
- .....
- .....
- .....
- .....